

ネイチャーポジティブ時代の大学キャンパス

ー 自然共生サイトの最前線レポート ー

本環境サロンでは、慶應義塾大学 環境情報学部・学部長 教授の一ノ瀬 友博様、岩手県立大学 総合政策学部 教授の蒲 敏哉様、横浜国立大学 総合学術高等研究院／教育学部 教授の倉田 薫子様、兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 准教授の澤田 佳宏様をお招きし、各大学のキャンパスにおける日本版 OECM「自然共生サイト」への登録に向けた具体的な取り組みや、構築支援活動について話題提供いただきます。ネイチャーポジティブ達成に向けたアカデミアの最新動向を共有するとともに、大学が果たすべき役割やキャンパスを自然共生サイトにするための実践的なアイデアについて参加者の皆様と議論します。

開催日時 2026年9月15日(火) 18時～20時

講師

一ノ瀬 友博 (慶應義塾大学 環境情報学部・学部長 教授)

蒲 敏哉 (岩手県立大学 総合政策学部 教授)

倉田 薫子 (横浜国立大学総合学術高等研究院／教育学部 教授)

澤田 佳宏 (兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 准教授)

コメンテーター 松井孝典 (行事委員・大阪大学)



開催方式 オンライン (定数 50 名)

参加費 学生※ 無料 ・ 会員 1,000 円 ・ 非会員一般 2,000 円
※ 準会員・正会員 (博士後期課程在籍) を含む

【講師プロフィール】

一ノ瀬 友博 (いちのせ ともひろ) : 慶應義塾大学環境情報学部・学部長／教授

専門は景観生態学、緑地計画学、農村計画学。環境情報科学センター理事。都市や農村地域における生物多様性保全、生態系を基盤とした防災・減災、災害被災地における創造的復興などに関わるプロジェクトを進めている。

蒲 敏哉 (かば としや) : 岩手県立大学 総合政策学部 教授

早大卒。中日新聞(東京新聞)社会部で気候変動、生物多様性の COP を取材。オックスフォード大ロイター・ジャーナリズム研究所ジャーナリストフェロー、ベルリン自由大環境政策研究所客員研究員。2022年から現職。

倉田 薫子 (くらた かおるこ) : 横浜国立大学 総合学術高等研究院／教育学部 教授

専門は生物多様性保全、環境教育・ESD。横浜国立大学ユネスコチェア共同代表。自然共生サイトに認定されたときわの森を活用して、子どもや大学生向け体験型学習、企業研修、環境教育リーダー養成などを行っている。

澤田 佳宏 (さわだ よしひろ) : 兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 准教授

植生学を専門とし、海岸および里地の草原植生を主な研究対象としている。里の自然と人の関わりを理解するため、淡路島の中山間地域に移住した。休日はだいたい草刈り。

参加申込み方法 : 以下フォームよりお申込みください(申し込み締切 : 2026年9月13日)

<https://event.atlas.jp/ja/ceis/S0004> (外部サイトへ移動します)

※お申込みいただいた方にオンライン会議情報を開催の前日までにメールにてご案内します

<問い合わせ先>

(一社) 環境情報科学センター 環境サロン係 E-mail: memberadmin@ceis.or.jp